

Libra

<http://www.t-kcon.org/>

Libra Vol.
B035

発行/一般社団法人 計量器コンサルタント協会
〒105-0022 東京都港区海岸1-7-4
一般社団法人 東京都計量協会内
TEL 03-3434-6591 FAX 03-3434-6592

-----CONTENTS-----

- 2013「都民計量のひろば」開催案内-----①
- 関東甲信越地区連絡協議会開催案内-----②
- 東西計コン開催案内/「出前計量教室」-----③
- JCSS20周年記念シンポジウム開催案内-----④
- 第1回研修見学会/会員のひろば -----⑤

計量の安心・安全・信頼を推進する
計量器コンサルタント

2013「都民計量のひろば」開催決定!

11月1日 新宿駅西口広場 サブテーマは「生活まもる正しい計量」

2013「都民計量のひろば」の開催内容が固まった。幹事会で検討が重ねられ、この程実行委員会に申し送られた。この「都民計量のひろば」は東京都の教育の日推進事業として、毎年11月1日の計量記念日に行われる行事で、今年で23回目を迎える。東京都生活文化局計量検定所をはじめ計量・環境関係団体の協力で多くの都民に楽しみながら計量制度への理解を深めてもらうことを目的にしている。

当協会は、(一社)東京都計量協会及び㈱タニタと協力し「健康と計量コーナー」を提案。骨強度と体重・体脂肪及び血圧測定を無料で行う。このコーナーは例年、希望者が多く行列が出来るほどの賑わいを見せている。

その他関係団体のコーナーは以下の通り。

「環境と計量コーナー」:環境計測器の展示、緑視率及びカーボンオフセットに関するパネル展示

東京計量士会/東京都環境計量協議会

「水道・ガス・電気と計量コーナー」:パネル展示とクイズ

東京都水道局/日本ガスメーター工業会/日本電気計器検定所

「食品と計量コーナー」:食品の精度、塩分、アルコール度数、カロリー測定

㈱イシダ/東京科学機器協会/日本硝子計量器工業協同組合

「計量体験コーナー」:計量体験ゲーム、計量器の工作

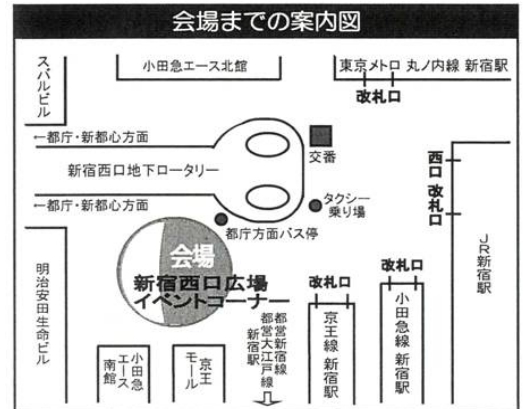
東京都生活文化局計量検定所/東京計量士会

「計量相談コーナー」:計量に関する相談受付、資料展示

東京都生活文化局計量検定所/(一社)計量器コンサルタント協会

「計量アトラクションコーナー」:計量マジック/マリンバ演奏

東京都生活文化局計量検定所/東京計量士会/(一社)東京都計量協会



計コンの皆様へ!
説明員などの応援を
お願い致します。
お待ちしております。

告知チラシ 表/裏

11月1日は計量記念日です

都民計量のひろば

くらしと計量 - 生活まもる正しい計量 -

平成25年11月1日(金)

10:30~18:00

新宿駅西口広場イベントコーナー (入場無料)

主催: 計量器コンサルタント協会

会場までの案内図

イベントコーナーへの交通案内

新設駅 (西口)
京王線、東京メトロ丸の内線
京王線東横線、丸の内線、丸の内線、丸の内線
丸の内線、丸の内線、丸の内線

お問合せ先
東京都生活文化局 計量検定所
東京都計量協会
一般社団法人 東京都計量協会
事務局(西口) 1-7-4 新宿駅西口
電話: 03-3434-6591

協賛企業
イベント会場に限り、協賛企業のご提供の
「Marimba Duo 2013」
によるステージが開催されます。

後援企業
計量器コンサルタント協会
東京都計量協会
東京都生活文化局計量検定所
東京都水道局
日本ガスメーター工業会
日本電気計器検定所
東京計量士会
東京都環境計量協議会
東京科学機器協会
日本硝子計量器工業協同組合

協賛企業
計量器コンサルタント協会
東京都計量協会
東京都生活文化局計量検定所
東京都水道局
日本ガスメーター工業会
日本電気計器検定所
東京計量士会
東京都環境計量協議会
東京科学機器協会
日本硝子計量器工業協同組合



「関東甲信越地区計量団体連絡協議会」開催のご案内

毎年恒例の「関東甲信越地区計量団体連絡協議会」の日程が決まった。この協議会は、東京、千葉、埼玉、神奈川、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、新潟の1都9県の計量検定所長をはじめ、経済産業省産業技術環境局知的基盤課行政室長らを来賓にお招きし、計量行政全般に関わる課題について協議する大会である。幹事は輪番制で、今年は千葉県の計量協会、計量士部会が担当する。開催内容は以下の通り。

【開催日】平成25年10月25日(金)

【開催場所】ホテルオークラ東京ベイ * 千葉県浦安市舞浜1-8
JR京葉線舞浜駅からディズニーリゾートラインでベイサイド・
ステーション駅下車徒歩3分

【開催スケジュール】

12:30 受付開始
13:30 運営要領説明
13:40 表彰式
13:50 連絡協議会
16:05 記念講演「今を生きる(仮題)」 講師:福島祥郎氏
(オリエンタルランド前社長)
17:15 懇親会

【参加費】 ¥13,000 (協議会のみ参加の場合は¥3,000)



ホテルオークラ東京ベイ

「東西計量器コンサルタント合同研修見学会」のお知らせ

計量器コンサルタント協会の会員相互のレベルアップ及び懇親を目的に大阪地区と合同で行われる研修見学会の日程が決まった。今年は大阪が担当で詳細は以下の通り。

【開催日時】平成25年10月24日(木) 12:30 新大阪集合

【見学場所】13:00~14:30
「水の都に華が咲く」貸切水陸両用バスによる
水都めぐり

【研修会】15:00~15:30
「非自動はかりJIS改正と計量行政の動き」
講師:(一社)東京都計量協会専務理事 森川正彦氏

【懇親会】15:30~
「串カツだるま 北新地店」

【参加費】 ¥5,000(懇親会費込)

参加ご希望の方は、10月3日(木)事務局までお申込みください。

水上を滑るように進む、水陸両用バス



平成25年度「出前計量教室」順次開催

今年度の「出前計量教室」が開催されている。年度内に10校合計485人の小学4~6年生を対象に棒はかりの製作実習や計量に関わる講習を行う計画だ。東京計量士会と計量検定所では、各日程において応援可能な人員を募っている。

10/02 渋谷区加計塚	棒	10/03 渋谷区長谷戸	棒
10/11 立川市第四	温	10/18 大田区萩中	棒
12/04 荒川区瑞光	棒	01/21 八王子市油井第三	棒
01/31 立川市第二	棒	02/04 北区第三岩淵	重
02/14 中央区常盤	重	03/06 北区紅葉	重

棒:棒はかり 温:温度計測 重:重さ計測



懐かしい棒はかり
今では使っている人も見なくなりました。

JCSS20周年記念シンポジウム開催案内

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)は、この程JCSS(計量法校正事業者登録制度)の創設20周年を記念してシンポジウムを実施することとなった。メインテーマに、JCSSは「安全とあなたの未来を支えます」を掲げ、日本のモノ作りの「安全」を計測の信頼性確保という形で支えてきJCSSの20年間の歩み、並びに「未来」への展望として、計量標準の開発状況や中小企業・公設試験研究機関等との関わりについても紹介する。

開催内容については以下の通り。

シンポジウム告知チラシ

【開催日時】平成25年12月2日(月) 13:30~17:00

【会場】イノホール 東京メトロ霞が関駅徒歩1分

【参加費】無料(事前登録制)

【講演プログラム】

- 13:30~13:40 来賓挨拶
- 13:40~14:00 開会・講演1 * JCSSの20年を振り返って(仮)
- 14:00~14:30 講演2 * 日本のモノ作りを支える計測の重要性について
- 14:30~15:00 講演3 * 東京都立産業技術研究センターにおける試験事業の高品質化と海外展開支援への取り組み
- 15:00~15:50 展示及び休憩
- 15:50~16:20 講演4 * 当社のJCSS業務の展開について(仮)
- 16:20~16:50 講演5 * 計量標準開発の現状と課題、今後のJCSSへの貢献(仮)
- 16:50~17:00 閉会挨拶

JCSS (計量法校正事業者登録制度)

JCSS20周年記念シンポジウム

—JCSSは「安全とあなたの未来を支えます」—

計測の信頼性を「校正事業者認定」という仕組みにより、20年間にわたり支えてきたJCSSの軌跡と現状について、さらに未来への展望をご紹介します

20th JCSS

日時 2013年 12月2日(月) 13:30~17:00	場所 イノホール (東京メトロ霞が関駅徒歩1分、詳細は裏面へ)	参加費 無料 (事前登録制)
--	---------------------------------------	----------------------

講演&展示

- ※詳細は裏面へ
- ・日本のモノ作りの「安全」を支えてきたJCSSの20年に関する講演
- ・「未来」への展望として、計量標準の開発状況や中小企業・公設試験研究機関との関わりに関する講演
- ・JCSS登録事業者の展示による事業紹介、相談コーナーの設営。

主催：独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）
後援（予定）：経済産業省、独立行政法人産業技術総合研究所

皆様のご来場をお待ちしております

JCSSとは、Japan Calibration Service System の略称で、平成5年11月より計量法に基づく校正事業者認定制度として運営されてきたが、平成17年7月1日より校正事業者登録制度となった。この登録制度は、国際標準化機構及び国際電気標準会議が定めた校正機関に関する

基準(ISO/IEC17025)の要求事項に適合しているか否かを審査し、校正事業者を登録する制度である。登録を希望する事業所は、公表されている登録区分において任意の申請を行い、品質システム、校正方法、不確かさの見積もり、その設備などが校正を実施する上で適切であるか否か、定められた通り品質システムが運営されているかを書類審査及び現地審査を受ける。適合と審査された事業者は、登録されその証として図①の標章ロゴマークの入った校正証明書を発行することができる。

なお、国際MRA対応を希望する登録事業者に対して、別の任意な契約に基づきその校正能力の維持状況を確認するための定期的な検査及び技能試験(Proficiency test)を実施している。国際MRA対応認定事業者は、その証として図②の認定シンボルの入った校正証明書を発行することが出来る。JSCC標章やJCSS認定シンボル付き校正証明書は、そのマークによって日本の国家計量標準へのトレーサビリティが確保され、校正事業者の技術能力のあることが一目でわかるメリットを持っている。

図①



図②



計量コラム

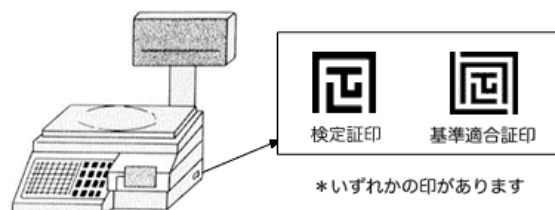
私たち計量人が知ってるつもりが？
そんな用語を取り上げて来ましたが、今回は特定計量器の計量士による代行検査についての話題です。

取引証明に使用する特定計量器は、2年に1回実施される定期検査を受検し合格しなければなりません。しかし、特定計量器の種類に応じて、経済産業省令で定める計量士が、検査を行い合格印を付したものについて、これを使用するものが届け出をした場合は、検定所が行う定期検査を受検することを要しない(計量法第25条)と、しています。

以上の事が計量士による代行検査の概要で、これを代行検査とも言っています。検定所による検査と計量士による代行検査との違いは、検定所が検査日時が指定であり、多くの場合、小型はかりは検査指定場所まで運搬しなければ

「代行検査」

ならないのと分銅による検査のみに対し、代行検査は検査日時は期間内いつでも対応可能であり、また設置場所にて検査が可能です。計量士による検査時期や保守点検などについても、アドバイスや相談の便宜をはかってもらうこともできます。



平成25年度第1回研修見学会
東京都立産業技術研究センター／東京ガス榊ヶ浦工業LNGプラザ

当会は、7月9日(火)に第1回研修見学会を実施した。東京都計量検定所構内に集合し、貸切バスで最初の見学先江東区青海の都立産業技術研究センターへ向かった。同センターは、都内の中小企業に向けた技術、開発支援、人材育成、情報発信、産業交流など多目的にわたる事業を行う機関で、技術分野別に7グループ、3セクターが活動している。

最初に施設の概略説明を受け、光音技術グループの無響室や残響室など、建築材料や音響設計上の各種試験などの設備を見学。次にシステムデザインセクターで話題の3Dプリンターの造形サンプルに触れた。3Dデザイン、データ処理、試作、製品化まで技術教育、機器利用を提供し開発を支援していくという。

次に訪れたのは電子半導体グループの高電圧分野の部屋。電源設備や機器の耐電圧試験、雷インパルス試験、耐過電流試験などを行う部屋だ。500kv交流電圧発生装置、1600kv雷インパルス電圧発生装置、電源ライン雑音許容度試験装置などが並び、実際に落雷を発生させる実験を見学した。

一行は再びバスに乗り、途中昼食をはさみんで東京ガス榊ヶ浦工場に向かった。

東京ガス榊ヶ浦工場は、液化天然ガス(LNG)の受け入れガス化施設として1973年に建設された。ガス化施設としては世界最大級のプラントとして、世界各地から原料を

輸入している。LNG輸送船専用バースは同時に5隻着岸が可能であり、都市ガス、発電用燃料の安定供給に大きな役割を果たしている。

隣接する敷地に東京電力の火力発電所があり、設備を一部共同で所有し、火力発電所からの温排水を有効利用するなど一体的な設計・運用を行っている。

この工場の主要設備は30余基設置されている巨大なLNG地下タンク。都市ガスにして一般家庭230万世帯が1年間に消費する量に相当する。私たちの生活に必要な重要エネルギー基盤を支えていることは間違いのないようだ。

その後、同センターで-162℃のLNGを使った実験を見学。クリーンエネルギーの安全性を再確認し工場を後にした。

東京ガス榊ヶ浦工場 玄関前にて



・会・員・の・広・場・

会員企業紹介

㈱テイク松定

設立日:1957年 創業 1869年 代表者:松村 卓
所在地:埼玉県川城市仲町3-16
URL: <http://www.matusada.co.jp>

弊社は観光で名前が知られる川越のほぼ中心地で明治5年(1869年)に日用雑貨商として創業致しました。

明治26年(1893年)に衡器の販売免許を取得し、昭和23年(1945年)度量衡の販売を専業として昭和29年(1954年)には松定度量衡店を改め、有限会社松定ハカリ店を設立しました。昭和40年代に入り市場にOA化の波が押し寄せると、いち早くOA機器の販売も開始し現在に至ります。

弊社の地元である川越市は観光地としてはもとより、先日決定した2020年開催の東京オリンピックで公式競技となるゴルフ会場の「霞が関カントリークラブ」を有することでも話題となっております。

埼玉の西部地区は、都心からのアクセスも良く事業所が多く見られ特に製造工場がある工業団地が多く存在する土地柄があります。そのため今までは、相応の計量器の販売も見込まれていましたが、今後は単に計量器の販売のみだけでなく、コンサルタント業務を中心として有益な提案を継続し、信頼関係の構築を目指してまいります。

(取扱製品及び業務内容)

各種計量器・金属検知機・X線異物検査機等の販売・検査・修理代行検査業務／事務機器一般販売及びメンテナンス／測量機及び資材の販売／加工ステーション・プリントショップ
オフィス『仕事人』運営

写真上: 明治20年当時の店舗
写真下: 現在の小売営業部店舗

株式会社 **テイク松定**
はかりとOAの総合商社

